

本音の コトバ



斎藤 学

の密接な関係に気づいた。以後、問題を抱える家族の一人ひとりと話すという地を這うような仕事を続けている。

政府とは税金を社会のために再配分する仕組みのはず。それで言うのだが、今度の政権にはNPO法人の活用に道を開いてもらいたい。現場には、そこにいないとわからない細々した智恵がある。そしてその細部にこそ「神は宿る」のだ。

私は一九七〇年代末から八〇年代にかけて薬物・アルコール乱用への国レベルの対応に、技官として参加した。勉強にはなったが、患者のためなら断酒会などの市民活動を助成する方が効果的だと思った。その後、夫婦間暴力や児童虐待などを治療対象とするようになり、家族のありかたと症状行動(依存症など)と

現場にこそ「神宿る」

彼らが語ってくれるような問題は役所で解決できるといったものではない。官のやることには限界があり、それで良いのだ。例えば児童相談所やその職員を十倍に増やしても何も解決しない。そもそも個々の生活問題に官の末端組織が監視の目を光らせるような社会を誰も望んでいない。

むしろ地域で子育て支援にあたる様々なNPO法人を動員すれば、役人を増やす以上の効果がある。今、どんな団体がどこまで実績をあげているかを見てほしい。どこも手弁当でフラフラなので、効果が確かめられたら公的資金を投入してほしい。(精神科医)